

概要

Borland VisiBroker® 7.0

Borland®
Excellence Endures™

Borland Software Corporation
20450 Stevens Creek Blvd., Suite 800
Cupertino, CA 95014 USA
www.borland.com

ライセンス規定および限定付き保証にしたがって配布が可能なファイルについては、deploy.html ファイルを参照してください。

Borland Software Corporation は、本書に記載されているアプリケーションに対する特許を取得または申請している場合があります。該当する特許のリストについては、製品 CD または [バージョン情報] ダイアログボックスをご覧ください。本書の提供は、これらの特許に関する権利を付与することを意味するものではありません。

Copyright 1992-2006 Borland Software Corporation. All rights reserved. すべての Borland のブランド名および製品名は、米国およびその他の国における Borland Software Corporation の商標または登録商標です。その他のブランドまたは製品名は、その著作権所有者の商標または登録商標です。

Microsoft、.NET ログおよび Visual Studio は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

サードパーティの条項と免責事項については、製品 CD に収録されているリリースノートを参照してください。

2006 年 5 月 11 日初版発行
著者 : Borland Software Corporation
発行 : ボーランド株式会社
PDF

目次

第 1 章		第 3 章	
Borland VisiBroker の概要	1	VisiBroker コンソール	9
VisiBroker の概要	1	VisiBroker Console の起動とログイン	9
VisiBroker の機能	2	VisiBroker コンソールのメニュー	10
VisiBroker のマニュアル	2	[Console] メニュー	10
スタンドアロンヘルプビューアからの VisiBroker オンラインヘルプトピックへのアクセス	3	[View] メニュー	10
VisiBroker コンソールからの VisiBroker オンラインヘルプトピックへのアクセス	3	[Tools] メニュー	11
マニュアルの表記規則	4	[Help] メニュー	11
プラットフォームの表記	4	VisiBroker コンソールの基本設定	11
Borland サポートへの連絡	4	General の設定	12
オンラインリソース	5	Security の基本設定	12
Web サイト	5	VisiBroker の基本設定	13
Borland ニュースグループ	5		
第 2 章		索引	15
ライセンスマネージャの使い方	7		
ライセンスマネージャの起動	7		
ライセンス情報の表示	7		
ライセンスの追加	8		
ライセンスのインポート	8		
ライセンスの削除	8		

第 1 章

Borland VisiBroker の概要

Borland は、CORBA 開発者に向けて、業界最先端の VisiBroker オブジェクトリクエストブローカー (ORB) を活用するために *VisiBroker for Java*, *VisiBroker for C++*, および *VisiBroker for .NET* を提供しています。この 3 つの VisiBroker は CORBA 2.6 仕様の実装です。

VisiBroker の概要

VisiBroker は、CORBA が Java オブジェクトと Java 以外のオブジェクトの間でやり取りする必要がある分散配布で使用されます。幅広いプラットフォーム (ハードウェア, オペレーティングシステム, コンパイラ, および JDK) で使用できます。VisiBroker は、異種環境の分散システムに関連して一般に発生するすべての問題を解決します。

VisiBroker は次のコンポーネントからなります。

- VisiBroker for Java, VisiBroker for C++, および VisiBroker for .NET (業界最先端のオブジェクトリクエストブローカーの 3 つの実装)。
- VisiNaming Service - Interoperable Naming Specification バージョン 1.3 の完全な実装。
- GateKeeper - ファイアウォールの背後の CORBA サーバーとの接続を管理するプロキシサーバー。
- VisiBroker Console - CORBA 環境を簡単に管理できる GUI ツール。
- コモンオブジェクトサービス - VisiNotify (通知サービス仕様の実装), VisiTransact (トランザクションサービス仕様の実装), VisiTelcoLog (Telecom ログサービス仕様の実装), VisiTime (タイムサービス仕様の実装), VisiSecure など。

VisiBroker の機能

VisiBroker には次の機能があります。

- セキュリティと Web 接続性を容易に装備できます。
- J2EE プラットフォームにシームレスに統合できます (CORBA クライアントが EJB に直接アクセスできる)。
- 堅牢なネーミングサービス (VisiNaming) とキャッシュ、永続的ストレージ、および複製によって高可用性を実現します。
- プライマリサーバーにアクセスできない場合に、クライアントをバックアップサーバーに自動的にフェイルオーバーします。
- CORBA サーバークラス内で負荷分散を行います。
- OMG CORBA 2.6 仕様に完全に準拠します。
- Borland JBuilder 統合開発環境と統合されます。
- Borland AppServer などの他の Borland 製品と最適に統合されます。

VisiBroker のマニュアル

VisiBroker のマニュアルセットは次のマニュアルで構成されています。

- *Borland VisiBroker インストールガイド*— VisiBroker をネットワークにインストールする方法について説明します。このマニュアルは、Windows または UNIX オペレーティングシステムに精通しているシステム管理者を対象としています。
- *Borland VisiBroker セキュリティガイド*— VisiSecure for VisiBroker for Java および VisiBroker for C++ など、VisiBroker のセキュリティを確保するための Borland のフレームワークについて説明しています。
- *Borland VisiBroker for Java 開発者ガイド*— Java による VisiBroker アプリケーションの開発方法について記載されています。Visibroker ORB の設定と管理、およびプログラミングツールの使用方法について説明します。また、IDL コンパイラ、スマートエージェント、ロケーションサービス、ネーミングサービス、イベントサービス、オブジェクトアクティベーションデーモン (OAD)、Quality of Service (QoS)、インターフェースリポジトリ、および Web サービスサポートについても説明します。
- *Borland VisiBroker for C++ 開発者ガイド*— C++ による VisiBroker アプリケーションの開発方法について記載されています。Visibroker ORB の設定と管理、およびプログラミングツールの使用方法について説明します。また、IDL コンパイラ、スマートエージェント、ロケーションサービス、ネーミングサービス、イベントサービス、OAD、QoS、プラグイン可能トランスポートインターフェース、RT CORBA 拡張機能、Web サービスサポート、およびインターフェースリポジトリについても説明します。
- *Borland VisiBroker for .NET 開発者ガイド*— .NET 環境による VisiBroker アプリケーションの開発方法について記載されています。
- *Borland VisiBroker for C++ API リファレンス*— VisiBroker for C++ に付属するクラスとインターフェースについて説明します。
- *Borland VisiBroker VisiTime ガイド*— Borland による OMG Time Service 仕様の実装について説明します。
- *Borland VisiBroker VisiNotify ガイド*— Borland による OMG 通知サービス仕様の実装について説明します。通知メッセージフレームワークの主な機能として、特に Quality of Service (QoS) のプロパティ、フィルタリング、および Publish/Subscribe Adapter (PSA) の使用方法が記載されています。

- *Borland VisiBroker VisiTransact ガイド* — Borland による OMG Object Transaction Service 仕様の実装および Borland Integrated Transaction Service コンポーネントについて説明します。
- *Borland VisiBroker VisiTelcoLog ガイド* — Borland による OMG Telecom Log Service 仕様の実装について説明します。
- *Borland VisiBroker GateKeeper ガイド* — Web ブラウザやファイアウォールによるセキュリティ制約の下で、VisiBroker GateKeeper を使用して、VisiBroker のクライアントがネットワークを介してサーバーとの通信を確立する方法について説明します。

通常、マニュアルにアクセスするには、VisiBroker とともにインストールされるヘルプビューアを使用します。ヘルプは、スタンドアロンのヘルプビューアからアクセスすることも、VisiBroker コンソールからアクセスすることもできます。どちらの場合も、ヘルプビューアを起動すると独立したウィンドウが表示されるため、このウィンドウからヘルプビューアのメインツールバーにアクセスしてナビゲーションや印刷を行ったり、ナビゲーションペインにアクセスすることができます。ヘルプビューアのナビゲーションペインには、すべての VisiBroker ブックとリファレンス文書の目次、完全なインデックス、および包括的な検索を実行できるページがあります。

重要 Web サイト <http://www.borland.com/techpubs> には、PDF 版のマニュアルと最新の製品マニュアルがあります。

スタンドアロンヘルプビューアからの VisiBroker オンラインヘルプトピックへのアクセス

製品がインストールされているコンピュータでスタンドアロンのヘルプビューアからオンラインヘルプにアクセスするには、次のいずれかの手順を実行します。

- | | |
|----------------|---|
| Windows | <ul style="list-style-type: none"> • [スタート プログラム Borland VisiBroker Help Topics] の順に選択します。 • または、コマンドプロンプトを開き、製品のインストールディレクトリの <code>%bin</code> ディレクトリに移動し、次のコマンドを入力します。
<code>help</code> |
| UNIX | <p>コマンドシェルを開き、製品のインストールディレクトリの <code>/bin</code> ディレクトリに移動し、次のコマンドを入力します。
<code>help</code></p> |
| ヒント | <p>UNIX システムにインストールするときの指定で、PATH エントリのデフォルトに <code>bin</code> を含まないようにします。カスタムインストールオプションを選択して PATH エントリのデフォルトを変更せず、PATH に現在のディレクトリのエントリがない場合は、<code>./help</code> を使用してヘルプビューアを起動できます。</p> |

VisiBroker コンソールからの VisiBroker オンラインヘルプトピックへのアクセス

VisiBroker コンソールから VisiBroker オンラインヘルプトピックにアクセスするには、[Help | Help Topics] を選択します。

[Help] メニューには、オンラインヘルプ内のいくつかの文書へのショートカットもあります。ショートカットの 1 つを選択すると、ヘルプトピックビューアが起動し、[Help] メニューで選択した項目が表示されます。

マニュアルの表記規則

VisiBroker のマニュアルでは、文中の特定の部分を表すために、次の表に示す書体と記号を使用します。

表 1.1 マニュアルの表記規則

表記規則	用途
<i>italic</i>	新規の用語およびマニュアル名に使用されます。
computer	ユーザーやアプリケーションが提供する情報、サンプルコマンドライン、およびコードです。
bold computer	本文では、ユーザーが入力する情報を示します。サンプルコードでは、重要なステートメントを強調表示します。
[]	省略可能な項目。
...	繰り返しが可能な直前の引数。
	二者択一の選択。

プラットフォームの表記

VisiBroker マニュアルでは、次の記号を使用してプラットフォーム固有の情報を示します。

表 1.2 プラットフォームの表記

記号	意味
Windows	サポートされているすべての Windows プラットフォーム
Win2003	Windows 2003 のみ
WinXP	Windows XP のみ
Win2000	Windows 2000 のみ
UNIX	すべての UNIX プラットフォーム
Solaris	Solaris のみ
Linux	Linux のみ

Borland サポートへの連絡

Borland 社は各種のサポートオプションを用意しています。それらにはインターネット上の無償サービスが含まれており、大規模な情報ベースを検索したり、他の Borland 製品ユーザーからの情報を得ることができます。さらに Borland 製品のインストールに関するサポートから有償のコンサルタントレベルのサポートおよび高レベルなアシスタンスに至るまでの複数のカテゴリから、電話サポートの種類を選択できます。

Borland のサポートサービスの詳細や Borland テクニカルサポートへの問い合わせについては、Web サイト <http://support.borland.com> で地域を選択してください。

Borland 社のサポートへの連絡にあたっては、次の情報を用意してください。

- 名前
- 会社名およびサイト ID
- 電話番号
- ユーザー ID 番号 (米国のみ)
- オペレーティングシステムおよびバージョン
- Borland 製品名およびバージョン
- 適用済みのパッチまたはサービスパック
- クライアントの言語とそのバージョン (使用している場合)
- データベースとそのバージョン (使用している場合)

- 発生した問題の詳細な内容と経緯
- 問題を示すログファイル
- 発生したエラーメッセージまたは例外の詳細な内容

オンラインリソース

ネットワーク上の次のサイトから情報を得ることができます。

Web サイト	http://www.borland.com/jp/
オンラインサポート	http://support.borland.com (ユーザー ID が必要)
リストサーバー	電子ニュースレター (英文) を購読する場合は、次のサイトに用意されているオンライン書式を使用してください。 http://www.borland.com/products/newsletters

Web サイト

定期的に <http://www.borland.com/jp/products/visibroker/index.html> をチェックしてください。**VisiBroker** 製品チームによるホワイトペーパー、競合製品の分析、FAQ の回答、サンプルアプリケーション、最新ソフトウェア、最新のマニュアル、および新旧製品に関する情報が掲載されます。

特に、次の URL をチェックすることをお勧めします。

- http://www.borland.com/products/downloads/download_visibroker.html (最新の **VisiBroker** ソフトウェアおよび他のファイル)
- <http://www.borland.com/techpubs> (マニュアルの更新および PDF)
- <http://info.borland.com/devsupport/bdp/faq/> (**VisiBroker** の FAQ)
- <http://community.borland.com> (英語、開発者向けの弊社 Web ベースニュースマガジン)

Borland ニュースグループ

Borland VisiBroker を対象とした数多くのニュースグループに参加できます。**VisiBroker** などの **Borland** 製品のユーザーによるニュースグループへの参加については、<http://www.borland.com/newsgroups> を参照してください。

メモ これらのニュースグループはユーザーによって管理されているものであり、ボーランド社の公式サイトではありません。

第 2 章

ライセンスマネージャの使い方

ライセンスマネージャを使用して、Borland の製品ライセンスを追加、登録、および削除できます。ここでは、ライセンスマネージャの GUI 機能の使い方について説明します。

Borland VisiBroker のライセンスには、次の 2 種類があります。

- **ノードライセンス。**このライセンスは、ライセンスが適用およびアクティブ化されるシステムに固定化されます。このライセンスを別のシステムにコピーすることはできません。また、別のシステムで実行されている VisiBroker 製品からこのライセンスにアクセスすることもできません。同じシステムにソフトウェアを再インストールした場合は、ライセンスを再度アクティブ化する必要があります。
- **ネットワークライセンス。**このライセンスでは、ライセンスサーバーを使用する必要があります。VisiBroker は、Belise (Borland のライセンスサーバー) の使用をサポートします。ネットワークライセンスのアクティブ化と使用については、Borland から送信される電子メールに記載されている手順を参照してください。

ライセンスマネージャの起動

ライセンスマネージャは、VisiBroker コンソールから次のように起動できます。

- 1 VisiBroker コンソールを起動します。
- 2 Tools メニューから [License Manager] を選択します。

ライセンスマネージャは、次のように実行可能ファイルを使用して起動することもできます。

- Windows** • Windows でライセンスマネージャを起動するには、<install_dir>\bin ディレクトリの lmadmw 実行可能ファイルを実行します。
- UNIX** • UNIX でライセンスマネージャを起動するには、<install_dir>/bin ディレクトリの lmadm 実行可能ファイルを実行します。

ライセンス情報の表示

ライセンスマネージャには、ローカルマシンの製品に適用したライセンスが表示されます。各ライセンスの詳細については確認するには、左側のナビゲーションツリーでライセンス

ノードをクリックします。右側の内容ペインには、製品の詳細と選択したノードに実行できる操作が表示されます。

ライセンスの追加

場合によっては、1つのインストールに複数のライセンスを適用する必要があります。このようなケースは、オプション製品を購入してベース製品に追加する場合に起こります。同じ製品インストールに2番め、3番めなどのライセンスを適用する場合も、最初の場合と同じです。

新しいノード製品ライセンスを追加する前に、次の手続きが必要です。

- **ライセンスごとの Serial Number と Key, またはアクティベーションファイル。**これらは Borland から電子メールで送信されます。
- **Borland Developer Network (BDN) のアカウント。**アカウントがない場合は、登録/使用許諾プロセス時に作成できます。
- **インターネットアクセス。**ライセンスをアクティブ化する方法としてダイレクト登録または Web ページ登録を使用する場合は、インターネットアクセスが必要です。登録は任意のシステムから実行できます。製品をインストールしたシステムである必要はありません。

製品ライセンスを追加するには、次の手順を完了します。

- 1 [Serial] メニューから [Add] を選択します。[Add Serial Number] ダイアログが開きます。
- 2 Serial Number と Key を入力して [OK] をクリックします。ライセンスマネージャのナビゲーションツリーで、新しい Serial Number が赤い文字で登録されていない Serial Number のリストに表示されます。
- 3 新しい Serial Number を選択したら、[Serial] メニューの [Register] を選択します。Borland product registration wizard の指示にしたがって登録プロセスを進めます。このウィザードの使用方法については、『*Borland VisiBroker インストールガイド*』の「Borland product registration wizard」を参照してください。

ライセンスのインポート

場合によっては、ファイルからライセンスをインポートする必要があります。製品ライセンスをインポートするには、次の手順にしたがいます。

- 1 [License] メニューから [Import] を選択します。[Import License] ダイアログが開きます。
- 2 Import License ナビゲーションツールを使用してライセンスファイルを探し、[OK] をクリックします。

ライセンスの削除

製品ライセンスを削除するには、次の操作のいずれかを実行します。

- ナビゲーションツリーのライセンスノードを右クリックして、[Delete] を選択します。
- ナビゲーションツリーでライセンスノードを選択し、[License] メニューの [Delete] を選択します。

第 3 章

VisiBroker コンソール

VisiBroker コンソールは、ネットワーク上で実行されている VisiBroker インフラストラクチャの状態を管理するためのグラフィカルユーザーインターフェースです。VisiBroker コンソールは、分散システムの表示や変更を行うために任意のコンピュータから実行できます。

VisiBroker Console の起動とログイン

VisiBroker コンソールを起動するには、次の手順にしたがいます。

1 VisiBroker コンソールを起動するには、次のいずれかの方法を使用します。

- Windows**
- [スタート]メニューから [プログラム | Borland VisiBroker | VisiBroker Console] を選択します
または、コマンドプロンプトを起動し、次のコマンドを入力します。

```
console
```

- メモ** console コマンドを使用するには、パスシステム変数に <install_dir>%bin ディレクトリが含まれている必要があります。または、パスを明示的に入力します。

- UNIX**
- コマンドシェルを開き、次のコマンドを入力します。

```
console
```

- メモ** console コマンドを使用するには、パスシステム変数に <install_dir>/bin ディレクトリが含まれている必要があります。または、パスを明示的に入力します。

[Enter Administration Security Credentials] 画面が表示されます。

2 ID、パスワード、および領域を入力します。

Borland のデフォルトの認証情報設定を使用する場合は、次のパスワードを入力します。

```
admin
```

3 [OK] をクリックします。

VisiBroker コンソールが表示されます。

VisiBroker コンソールのメニュー

VisiBroker コンソールには、次のメインメニューがあります。

- [Console] メニュー
- [View] メニュー
- [Tools] メニュー
- [Help] メニュー

[Console] メニュー

次の表では、[Console] メニューのコマンドについて説明します。

表 3.1 [Console] メニューのコマンド

[Console] メニューのコマンド	説明
Refresh	VisiBroker コンソールに表示される状態情報を手動で更新します。
Preferences	VisiBroker コンソールの設定や環境設定に使用する [Preferences] ダイアログボックスを表示します。このダイアログでの環境設定については、 11 ページの「VisiBroker コンソールの基本設定」 を参照してください。
Set Identity	ハブやエージェントを検出する際に認証で使用する認証情報（ユーザーID、パスワード、領域）を設定します。
Exit	VisiBroker コンソールを終了します。

[View] メニュー

次の表では、[View] メニューのコマンドについて説明します。

表 3.2 [View] メニューのコマンド

[View] メニューのコマンド	説明
Messages	エラーウィンドウを表示/非表示にします。
Tool Bar	VisiBroker コンソールウィンドウの上部にあるツールバーを表示/非表示にします。
Status Bar	VisiBroker コンソールウィンドウの下部にあるステータスバーを表示/非表示にします。

[Tools] メニュー

次の表では、[Tools] メニューのコマンドについて説明します。

表 3.3 [Tools] メニューのコマンド

[Tools] メニューのコマンド	説明
VisiBroker Properties File Editor	VisiBroker プロパティファイルを編集するためのエディタを開きます。

[Help] メニュー

このメニューでは、VisiBroker コンソールのオンラインヘルプドキュメントとバージョン情報画面にアクセスできます。

バージョン情報画面には、Borland ソフトウェアの重要情報を表示するタブがあります。

バージョン情報画面のタブ	説明
About	VisiBroker コンソールのバージョン番号と著作権情報を表示します。
General System Information	VisiBroker が検出した、オペレーティングシステム、Java バージョン、Java ベンダー、Java コンパイラなどのシステム環境設定を表示します。
Java Properties	VisiBroker が使用している Java 仮想マシンのプロパティ設定を表示します。

VisiBroker コンソールの基本設定

VisiBroker コンソールの基本設定では、VisiBroker コンソールで使用される設定、操作、表示のオプションを指定できます。

VisiBroker コンソールの基本設定を行うには、次の手順にしたがいます。

- 1 VisiBroker コンソールを起動し、[Console] メニューの [Preferences] を選択します。[Preferences] ダイアログボックスに、基本設定に必要なオプションを含む次のカテゴリが表示されます。
 - **General** : ユーザーインターフェースのオプションと設定を制御します。
 - **Security** : システム管理とセキュリティ環境の管理に関連するプロパティを提供します。
 - **VisiBroker** : VisiBroker コンソールのユーザーインターフェースオプションを設定します。
- 2 タブを選択して移動し、必要に応じて設定値を変更します。
- 3 設定が完了したら、[OK] をクリックします。

以下の節で、環境設定の詳細について説明します。

General の設定

General の基本設定では、VisiBroker コンソールのさまざまなユーザーインターフェース要素を設定します。このタブには、次のオプションがあります。

- **Look and feel** : VisiBroker コンソールウィンドウの表示形式と動作を設定します。選択できるオプションは、Metal, CDE/Motif, Windows (Microsoft Windows プラットフォームのみ), Windows Classic および Borland です。
- **Tab memory** : VisiBroker コンソールで使用する表示の状態情報を指定します。次のオプションがあります。
 - **Don't remember last visited tab pane** : 右側に [General] タブを表示して、ツリーの各ノードを開くように VisiBroker コンソールに指示します。
 - **Remember last visited tab pane by type** : 最後に開いたタブと同じ種類のタブ (同様のノード) でノードを開くように VisiBroker コンソールに指示します。たとえば、[Properties] タブが表示された状態で、[Properties] タブを持つ別のノードをクリックすると、VisiBroker コンソールはまずそのノードの [Properties] タブを表示します。
 - **Remember last visited tab pane by type and name** : 先のコンソールセッションでノードを選択したときに、最後に開いたタブに展開されたそのノードを開くように VisiBroker コンソールに指示します。このノードは、ノードが選択されたときに、最後に表示されていたタブに展開されます。
- **Sound beep on errors** : VisiBroker コンソールでエラーが発生すると、アラームが鳴ります。
- **Enable debug output** : VisiBroker コンソールの下部にある [Errors] ペインでデバッグ情報を報告するように VisiBroker コンソールに指示します。
- **HTML Browser Setup** : VisiBroker コンソールで使用する Web ブラウザのパスを指定します。インストールされている Web ブラウザを検索するには、[Browse] ボタンを使用します。

Security の基本設定

Security の基本設定は、システム管理とセキュリティ環境の管理に関連する設定を提供します。このタブには、次のオプションがあります。

- **Default realm** : VisiBroker コンソールで使用する認証領域の名前を指定します。
- **Default user** : VisiBroker コンソールで使用するユーザー名を指定します。
- **Enable Security** : VisiBroker コンソールでのセキュリティの処理方法を指定します。
 - サーバーのセキュリティがオンになっているかどうかにかかわらず、VisiBroker コンソールはエージェントと通信できます。ただし、セキュリティがオンになっているエージェントから要求を受信する場合、VisiBroker コンソールは、認証のためにユーザーのログイン認証情報 (領域, ユーザー名, パスワード) をエージェントに渡した後に、そのエージェントのサービスにアクセスできます。
 - このチェックをはずすと、VisiBroker コンソールは、セキュリティがオンになっていないサーバーとだけ通信します。

VisiBroker の基本設定

[VisiBroker] タブを使用して、VisiBroker コンソールのユーザーインターフェースオプションを指定します。このタブには、次のオプションがあります。

- **Remove Stale Service Reference** : このオプションを有効にすると、VisiBroker コンソールメインビューの **My Services** フォルダに設定されたすべての古い VisiBroker サービスリファレンスを削除できます。
- **Enable DNS Lookup** : このオプションを有効にすると、VisiBroker コンソールに表示するすべての DNS 関連情報をコンソールで解決できます。たとえば、IP アドレスは登録されたホスト名としてコンソールに表示されます。

メモ DNS ルックアップは、負荷のかかるリソース操作なので、VisiBroker コンソールではこのオプションを提供して DNS ルックアップの有効/無効を制御します。

索引

記号

... 省略符 4
[] ブラケット 4
| 縦線 4

B

Borland Web サイト 4, 5
Borland 開発者サポート, 連絡 4
Borland テクニカルサポート, 連絡 4

H

HTML ブラウザ 11

I

ID の設定 10

P

PDF マニュアル 3

V

13
VisiBroker コンソールの環境設定
13
環境設定
13
VisiBroker オンラインヘルプ 11
VisiBroker コンソール
環境設定 11
起動 9
基本設定 11
メニューコマンド 10
VisiBroker コンソールの環境設定
[一般] タブ 12
タブ 13, 12
VisiBroker コンソールの環境設定 13
VisiBroker の概要 1
VisiBroker プロパティファイルエディタコマンド 11

W

Web サイト
Borland ニュースグループ 5
ボーランド社の更新されたソフトウェア 5
ボーランド社のマニュアル 5

い

[一般] タブ
VisiBroker コンソールの環境設定 12

お

オンラインヘルプ 11
オンラインヘルプトピック, アクセス 3

か

開発者サポート, 連絡 4
概要 1
タブ 13, 12

環境設定
VisiBroker コンソール 11
[一般] タブ 12
ユーザーインターフェース 11
環境設定コマンド 10

き

記号
省略符 ... 4
縦線 | 4
ブラケット [] 4
起動
VisiBroker コンソール 9

こ

コマンド
[表示] メニュー 10
メニュー 10, 11
コマンド, 規約 4
コンソール
起動 9
10
コマンド
10
メニューのコマンド 10

さ

サポート, 連絡 4

し

終了コマンド 10

す

ステータスバーコマンド 10

せ

12
VisiBroker コンソールの環境設定
12
環境設定
12
タブ
VisiBroker コンソールの環境設定 12

そ

ソフトウェアの更新 5

つ

11
コマンド
11
ツールバーコマンド 10
メニューのコマンド 11

て

テクニカルサポート, 連絡 4

に

ニュースグループ 5

は

バージョン情報画面 11

ひ

[表示] メニューのコマンド 10

へ

11

コマンド

11

ヘルプトピック, アクセス 3

メニュー 11

ま

マニュアル 2

.pdf 形式 3

Borland セキュリティガイド 2

VisiBroker for .NET 開発者ガイド 2

VisiBroker for C++ API リファレンス 2

VisiBroker for C++ 開発者ガイド 2

VisiBroker for Java 開発者ガイド 2

VisiBroker GateKeeper ガイド 3

VisiBroker VisiNotify ガイド 2

VisiBroker VisiTelcoLog ガイド 3

VisiBroker VisiTime ガイド 2

VisiBroker VisiTransact ガイド 2

VisiBroker インストールガイド 2

Web 5

Web での更新 3

使用されている表記規則のタイプ 4

使用されているプラットフォームの表記規則 4

ヘルプトピックの表示 3

め

メッセージコマンド 10

メニューコマンド 10

ゆ

ユーザーインターフェース

環境設定 11

ら

ライセンスマネージャ

起動 7

情報の表示 7

ライセンスのインポート 8

ライセンスの削除 8

ライセンスの追加 8

り

リフレッシュコマンド 10